

令和6年度 青果物販売情勢について

令和6年9月18日（水）現在

J A ふくしま 未来
営農経済部園芸課

【きゅうり】

関東・東北産抑制作は休対出荷もあり入荷量は大幅に増加。荷動きが鈍化しているため売り場拡大を促すよう相場を下げた販売となっております。

【単価】 A 2500-2300 B 2300-2100

【ミニトマト】

北海道・東北産が低調入荷のため全体量は少ない。高値相場で推移しているため量目調整が可能なバラ物の引き合いが強い販売環境で相場は高値維持の保合となっております。

【単価】 A L 240-220 AM 250-240

【ピーマン】

茨城県産秋作は増加傾向だが、東北産は微増程度。品質難が散見される中でこれまでの高値販売により注文が減少傾向で荷動きは緩慢になりつつあり、相場は保合となっております。

【単価】 A L 150-100 AM 150-120